

# 令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の概要について



令和4年10月28日  
千葉県教育庁教育振興部  
児童生徒安全課  
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸課題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、長期欠席、公立高等学校の中途退学、自殺に関する令和3年度調査の本県分（千葉市を含む公立学校）を取りまとめたものです。

## ■ 主な調査結果の前年度比較

項目	令和3年度	令和2年度	増減
暴力行為の発生件数	5,090件	3,744件	1,346件増加
いじめの認知件数	51,478件	40,230件	11,248件増加
小・中・義務教育学校不登校児童・生徒数	9,951人	7,850人	2,101人増加
高等学校不登校生徒数	2,270人	1,593人	677人増加
中途退学者数	909人	933人	24人減少

### 1 調査項目及び対象

#### (1) 暴力行為

県内全公立小・中・義務教育・高等学校

#### (2) いじめ

県内全公立小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校

#### (3) 小学校及び中学校における長期欠席の状況等

県内全公立小・中・義務教育学校

#### (4) 高等学校における長期欠席の状況等

県内全公立高等学校

#### (5) 高等学校における中途退学者数等の状況

県内全公立高等学校

#### (6) 自殺

県内全公立小・中・義務教育・高等学校

※義務教育学校においては、前期課程は小学校に、後期課程は中学校に計上

### 2 調査対象期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間

### 3 調査結果の概要

**(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は5,090件で、前年度の3,744件より1,346件増加。 ※P7、表1 P9**

#### ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は4,064件で、前年度の2,881件より1,183件増加している。

中学校における発生件数は931件で、前年度の766件より165件増加している。

高等学校における発生件数は95件で、前年度の97件より2件減少している。

#### イ 形態別発生件数

##### (ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は363件で、前年度の187件より176件増加している。中学校における発生件数は78件で、前年度の53件より25件増加している。高等学校における発生件数は4件で、前年度の5件より1件減少している。

##### (イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は3,520件で、前年度の2,406件より1,114件増加している。中学校における発生件数は696件で、前年度の514件より182件増加している。高等学校における発生件数は63件で、前年度の67件より4件減少している。

##### (ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は0件で、前年度の103件より103件減少している。中学校における発生件数は1件で、前年度の35件より34件減少している。高等学校における発生件数は3件で、前年度と同様である。

##### (エ) 器物損壊

小学校における発生件数は181件で、前年度の185件より4件減少している。中学校における発生件数は156件で、前年度の164件より8件減少している。高等学校における発生件数は25件で、前年度の22件より3件増加している。

**(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は51,478件で、前年度の40,230件より11,248件増加。**

**※P7、表2 P10～14**

#### ア 校種別認知件数

(ア) 小学校における認知件数は43,688件で、前年度の34,206件より9,482件増加している。

(イ) 中学校における認知件数は6,681件で、前年度の5,144件より1,537件増加している。

(ウ) 高等学校における認知件数は910件で、前年度の640件より270件増加している。

(エ) 特別支援学校における認知件数は199件で、前年度の240件より41件減少している。

イ いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（令和4年3月31日現在）としては、「解消しているもの」が40,512件で、全認知件数の78.7%、「解消に向けて取組中」が10,943件で21.3%、「その他」が23件で0.04%である。

ウ いじめの発見のきっかけ

(ア) 小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(71.4%)、②本人からの訴え(12.6%)、③学級担任が発見(9.1%)である。

(イ) 中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(53.0%)、②本人からの訴え(19.9%)、③学級担任が発見(13.5%)である。

(ウ) 高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(67.8%)、②本人からの訴え(15.8%)、③生徒(本人を除く)からの情報(5.1%)である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①学級担任が発見(45.2%)、②アンケート調査など(42.7%)、③本人からの訴え(8.5%)である。

エ いじめられた児童生徒の相談の状況

(ア) 小学校の児童の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(86.6%)、②保護者や家族等に相談(16.3%)、③友人に相談(5.4%)である。

(イ) 中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(85.4%)、②保護者や家族等に相談(18.0%)、③学級担任以外の教職員に相談(11.0%)である。

(ウ) 高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(77.7%)、②学級担任以外の教職員に相談(18.9%)、③保護者や家族等に相談(7.8%)である。

(エ) 特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(80.4%)、②保護者や家族等に相談(13.6%)、③学級担任以外の教職員に相談(13.1%)である。

オ いじめの態様

(ア) 小学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(53.9%)、②軽くぶつかられる、たたかれる等(27.4%)、③仲間はずれ、集団による無視(14.7%)である。

(イ) 中学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(61.8%)、②軽くぶつかられる、たたかれる等(15.6%)、③仲間はずれ、集団による無視(12.2%)である。

(ウ) 高等学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(43.7%)、②パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる(23.8%)、③仲間はずれ、集団による無視(13.0%)である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(35.7%)、②軽くぶつかられる、たたかれる等(25.1%)、③嫌なことや恥ずかしいことをされる(18.1%)である。

カ 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめ重大事態の発生件数は、第1号17件、第2号22件、計30件。

(3) 小学校における長期欠席児童数は8,375人で、全児童に対する割合は2.77%である。長期欠席児童の中で不登校を理由としている児童数は3,583人で、前年度の2,691人より892人増加し、全児童に対する割合は1.18%で0.3ポイント増加。

中学校における長期欠席生徒数は9,726人で、全生徒に対する割合は6.57%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は6,368人で、前年度の5,159人より1,209人増加し、全生徒に対する割合は4.30%で0.78ポイント増加。 ※P8、表4 P15~P19

※不登校児童生徒数（令和3年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数）

ア 長期欠席者の状況

(ア) 小学校の長期欠席者8,375人のうち、「病気」は1,236人で長期欠席者全体に占める割合は14.8%、「経済的理由」は0人、「不登校」は3,583人で長期欠席者全体に占める割合は42.8%、「新型コロナウイルスの感染回避」は2,190人で長期欠席者全体に占める割合は26.1%、「その他」は1,366人で長期欠席者全体に占める割合は16.3%である。

(イ) 中学校の長期欠席者9,726人のうち、「病気」は1,970人で長期欠席者全体に占める割合は20.3%、「経済的理由」は0人、「不登校」は6,368人で、長期欠席者全体に占める割合は65.5%、「新型コロナウイルスの感染回避」は693人で長期欠席者全体に占める割合は7.1%、「その他」は695人で長期欠席者全体に占める割合は7.1%である。

イ 不登校児童生徒の欠席の状況

(ア) 小学校の不登校児童で「うち、90日以上欠席している者」の割合は43.5%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は8.1%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は3.2%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は59.3%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は13.8%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は4.3%である。

ウ 不登校児童生徒への指導結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果登校する又はできるようになった児童」の割合は、24.9%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、27.8%である。

エ 不登校の要因

(ア) 小学校の児童の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力・不安（59.5%）、②生活リズムの乱れ・遊び・非行（10.6%）、③親子の関わり方（8.3%）である。なお「いじめ」は0.5%である。

(イ) 中学校の生徒の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力・不安（49.5%）、②いじめを除く友人関係をめぐる問題（12.7%）、③生活リズムの乱れ・あそび・非行（12.3%）である。なお「いじめ」は0.1%である。

オ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー、相談員等(32.0%)、②養護教諭(13.1%)、③教育委員会所管の機関(教育支援センターを除く)(11.9%)である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー、相談員等(29.1%)、②養護教諭(12.5%)、③教育支援センター(10.5%)である。

**(4) 高等学校における長期欠席生徒数は3,229人で、全生徒に対する割合は3.43%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は2,270人で、前年度の1,593人より677人増加し、全生徒に対する割合は2.41%で前年度より0.79ポイント増加。**

**※P8、表4、5 P20~23**

ア 長期欠席者の状況

(ア) 長期欠席者3,229人のうち、「病気」は542人で長期欠席者全体に占める割合は16.8%、「経済的理由」は23人で長期欠席者全体に占める割合は0.7%、「不登校」は2,270人で長期欠席者全体に占める割合は70.3%、「新型コロナウイルスの感染回避」は213人で長期欠席者全体に占める割合は6.6%、「その他」は181人で長期欠席者全体に占める割合は5.6%である。

(イ) 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は1,622人で、全日制生徒全体に対する割合は1.8%、定時制の生徒数は648人で、定時制生徒全体に対する割合は26.2%である。

イ 不登校生徒の欠席の状況

高等学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は10.6%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は2.9%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は0.8%である。

ウ 不登校生徒への指導結果状況

高等学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、全日制で49.1%、定時制で35.3%である。

エ 不登校の要因

(ア) 全日制の生徒の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力・不安(42.8%)、②生活リズムの乱れ・あそび・非行(20.8%)、③いじめを除く友人関係をめぐる問題(8.0%)である。なお「いじめ」は0.2%である。

(イ) 定時制の生徒の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力・不安(51.7%)、②生活リズムの乱れ・あそび・非行(27.3%)、③いじめを除く友人関係及び親子の関わり方(2.9%)である。なお「いじめ」は0件である。

オ 不登校生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー、相談員等(22.9%)、②養護教諭(21.4%)、③病院・診療所(8.1%)である。

(5) 公立高等学校の中途退学者数は909人で、前年度の933人より24人減少し、年度当初の在籍者数に占める割合は0.96%であり、前年度の0.94%より0.02ポイント増加。 ※P8、表6 P24、25

(※令和3年4月1日の在籍者数95,099人を基準とする中途退学率)

課程別に見ると、全日制が721人で、前年度の729人より8人減少し、定時制は151人で、前年度の159人より8人減少。通信制は37人で、前年度の45人より8人減少。

ア 課程別の中途退学率は、全日制が0.79%で前年度の0.76%より0.03ポイント増加している。定時制は6.07%で前年度の6.04%より0.03ポイント増加している。通信制は3.97%で前年度の4.10%より0.13ポイント減少している。

イ 全日制の学年別中途退学率は、第1学年では1.20%、第2学年では1.04%、第3学年では0.39%である。また、単位制では0.47%である。

ウ 全中途退学者数に占める割合は、全日制において第1学年では30.6%、第2学年では28.2%、第3学年では10.7%、単位制では9.9%である。また、定時制は16.6%、通信制は4.1%である。

エ 中途退学の理由の上位3つは、①学校生活・学業不適應(50.5%)、②進路変更(27.5%)、③学業不振(8.6%)である。

(ア) 「進路変更」の内訳としての上位3つは、①別の高校への入学を希望(67.6%)、②就職を希望(16.0%)、③高卒程度認定試験受験を希望(11.2%)である。

(6) 小・中・高等学校における自殺者数は16人(小0人、中6人、高10人)。  
※P8、表7

# 千葉県公立学校の問題行動・不登校等の諸課題の概要

## 1 暴力行為

校種別	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	合計(件)	増減	
形態・年度	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)		
対教師暴力	23年度	83 (0)	258 (14)	21 (0)	362 (14)	
	24年度	80 (0)	212 (1)	20 (0)	312 (1)	△ 50
	25年度	98 (0)	273 (2)	14 (0)	385 (2)	73
	26年度	225 (0)	238 (3)	17 (0)	480 (3)	95
	27年度	145 (0)	155 (1)	12 (0)	312 (1)	△ 168
	28年度	127 (0)	257 (0)	7 (0)	391 (0)	79
	29年度	358 (0)	151 (0)	12 (0)	521 (0)	130
	30年度	230 (0)	88 (0)	13 (0)	331 (0)	△ 190
	元年度	407 (0)	101 (0)	9 (0)	517 (0)	186
	2年度	187	53	5	245	△ 272
	<b>3年度</b>	<b>363</b>	<b>78</b>	<b>4</b>	<b>445</b>	<b>200</b>
生徒間暴力	23年度	341 (24)	1,216 (128)	177 (23)	1,734 (175)	
	24年度	376 (23)	1,196 (148)	174 (22)	1,746 (193)	12
	25年度	568 (33)	1,350 (138)	144 (21)	2,062 (192)	316
	26年度	688 (20)	1,333 (123)	151 (12)	2,172 (155)	110
	27年度	1,131 (54)	1,164 (62)	152 (9)	2,447 (125)	275
	28年度	1,285 (47)	1,190 (42)	119 (16)	2,594 (105)	147
	29年度	1,882 (81)	976 (40)	123 (12)	2,981 (133)	387
	30年度	2,103 (73)	1,064 (47)	144 (8)	3,311 (128)	330
	元年度	2,767 (89)	993 (28)	146 (14)	3,906 (131)	595
	2年度	2,406	514	67	2,987	△ 919
	<b>3年度</b>	<b>3,520</b>	<b>696</b>	<b>63</b>	<b>4,279</b>	<b>1,292</b>
対人暴力	23年度	17 (2)	57 (48)	17 (17)	91 (67)	
	24年度	4 (2)	73 (65)	8 (8)	85 (75)	△ 6
	25年度	21 (2)	110 (66)	16 (13)	147 (81)	62
	26年度	15 (8)	53 (41)	4 (3)	72 (52)	△ 75
	27年度	24 (5)	55 (18)	7 (1)	86 (24)	14
	28年度	11 (2)	76 (38)	10 (7)	97 (47)	11
	29年度	18 (2)	54 (27)	10 (8)	82 (37)	△ 15
	30年度	22 (5)	47 (28)	13 (4)	82 (37)	0
	元年度	26 (9)	57 (19)	8 (8)	91 (36)	9
	2年度	103	35	3	141	50
	<b>3年度</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>△ 137</b>
器物損壊	23年度	98 (－)	714 (－)	84 (－)	896 (－)	
	24年度	86 (－)	575 (－)	83 (－)	744 (－)	△ 152
	25年度	101 (－)	673 (－)	63 (－)	837 (－)	93
	26年度	134 (－)	661 (－)	38 (－)	833 (－)	△ 4
	27年度	143 (－)	487 (－)	43 (－)	673 (－)	△ 160
	28年度	116 (－)	495 (－)	43 (－)	654 (－)	△ 19
	29年度	197 (－)	520 (－)	45 (－)	762 (－)	108
	30年度	206 (－)	378 (－)	64 (－)	648 (－)	△ 114
	元年度	178 (－)	375 (－)	56 (－)	609 (－)	△ 39
	2年度	185	164	22	371	△ 238
	<b>3年度</b>	<b>181</b>	<b>156</b>	<b>25</b>	<b>362</b>	<b>△ 9</b>
合計	23年度	539 (26)	2,245 (190)	299 (40)	3,083 (256)	
	24年度	546 (25)	2,056 (214)	285 (30)	2,887 (269)	△ 196
	25年度	788 (35)	2,406 (206)	237 (34)	3,431 (275)	544
	26年度	1,062 (28)	2,285 (167)	210 (15)	3,557 (210)	126
	27年度	1,443 (59)	1,861 (81)	214 (10)	3,518 (150)	△ 39
	28年度	1,539 (49)	2,018 (80)	179 (23)	3,736 (152)	218
	29年度	2,455 (83)	1,701 (67)	190 (20)	4,346 (170)	610
	30年度	2,561 (78)	1,577 (75)	234 (12)	4,372 (165)	26
	元年度	3,378 (98)	1,526 (47)	219 (22)	5,123 (167)	751
	2年度	2,881	766	97	3,744	△ 1,379
	<b>3年度</b>	<b>4,064</b>	<b>931</b>	<b>95</b>	<b>5,090</b>	<b>1,346</b>

※令和2年度より、学校の管理下、管理下以外のいずれかで発生したかに関わらず、発生件数を計上

## 2 いじめ

年度	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)	合計(件)	増減
23年度	3,672	3,556	138	12	7,378	
24年度	14,175	5,916	565	31	20,687	13,309
25年度	13,884	6,162	132	9	20,187	△ 500
26年度	19,410	6,180	197	24	25,811	5,624
27年度	22,537	6,499	213	127	29,376	3,565
28年度	24,876	6,376	253	112	31,617	2,241
29年度	28,951	6,267	448	167	35,833	4,216
30年度	31,641	6,898	763	180	39,482	3,649
元年度	42,775	7,994	956	342	52,067	12,585
2年度	34,206	5,144	640	240	40,230	△ 11,837
<b>3年度</b>	<b>43,688</b>	<b>6,681</b>	<b>910</b>	<b>199</b>	<b>51,478</b>	<b>11,248</b>

## 3 いじめ重大事態

年度	第1号(件)	第2号(件)	合計(件)	増減(件)
2年度	20	16	30	
<b>3年度</b>	<b>17</b>	<b>22</b>	<b>30</b>	<b>0</b>

(1件の「重大事態」が、第1号及び第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上されている。)

#### 4 不登校

年度	小学校		中学校		合計(人)	増減	高等学校		増減
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)			不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
23年度	898	0.27%	3,879	2.51%	4,777		3,017	2.93%	
24年度	856	0.26%	3,734	2.42%	4,590	△ 187	2,890	2.77%	△ 127
25年度	1,086	0.34%	3,884	2.51%	4,970	380	2,845	2.75%	△ 45
26年度	1,158	0.36%	3,963	2.56%	5,121	151	2,939	2.82%	94
27年度	1,233	0.39%	4,160	2.69%	5,393	272	2,604	2.51%	△ 335
28年度	1,456	0.46%	4,191	2.73%	5,647	254	2,658	2.55%	54
29年度	1,606	0.51%	4,637	3.06%	6,243	596	2,616	2.53%	△ 42
30年度	2,016	0.65%	5,100	3.44%	7,116	873	2,655	2.59%	39
元年度	2,352	0.76%	5,149	3.50%	7,501	385	2,381	2.37%	△ 274
2年度	2,691	0.88%	5,159	3.52%	7,850	349	1,593	1.62%	△ 788
<b>3年度</b>	<b>3,583</b>	<b>1.18%</b>	<b>6,368</b>	<b>4.30%</b>	<b>9,951</b>	<b>2,101</b>	<b>2,270</b>	<b>2.41%</b>	<b>677</b>

#### 5 高等学校の長期欠席状況等

年度	生徒数(人)	長期欠席者			合計	増減	長欠率(%)
		不登校(人)	病気・経済的・その他(人)	新型コロナウイルス感染症回避(人)			
23年度	102,897	3,017	877	—	3,894		3.78%
24年度	104,388	2,890	922	—	3,812	△ 82	3.65%
25年度	103,495	2,845	828	—	3,673	△ 139	3.55%
26年度	104,268	2,939	737	—	3,676	3	3.53%
27年度	103,808	2,604	845	—	3,449	△ 227	3.32%
28年度	104,045	2,658	921	—	3,579	130	3.44%
29年度	103,490	2,616	633	—	3,249	△ 330	3.14%
30年度	102,396	2,655	645	—	3,300	51	3.22%
元年度	100,255	2,381	535	—	2,916	△ 384	2.91%
2年度	98,259	1,593	659	106	2,358	△ 558	2.40%
<b>3年度</b>	<b>94,221</b>	<b>2,270</b>	<b>746</b>	<b>213</b>	<b>3,229</b>	<b>871</b>	<b>3.43%</b>

#### 6 高等学校の中途退学者

年度	中退率(%)	全日制(人)	定時制(人)	通信制(人)	合計(人)	増減
23年度	1.66%	1,177	530	—	1,707	
24年度	1.50%	1,083	480	—	1,563	△ 144
25年度	1.51%	1,107	473	10	1,590	27
26年度	1.40%	1,020	443	14	1,477	△ 113
27年度	1.24%	875	391	38	1,304	△ 173
28年度	1.27%	1,008	282	42	1,332	28
29年度	1.29%	1,008	327	11	1,346	14
30年度	1.31%	1,054	262	37	1,353	7
元年度	0.96%	778	179	15	972	△ 381
2年度	0.94%	729	159	45	933	△ 39
<b>3年度</b>	<b>0.96%</b>	<b>721</b>	<b>151</b>	<b>37</b>	<b>909</b>	<b>△ 24</b>

注1)平成25年度より通信制課程が加わった。

#### 7 自殺

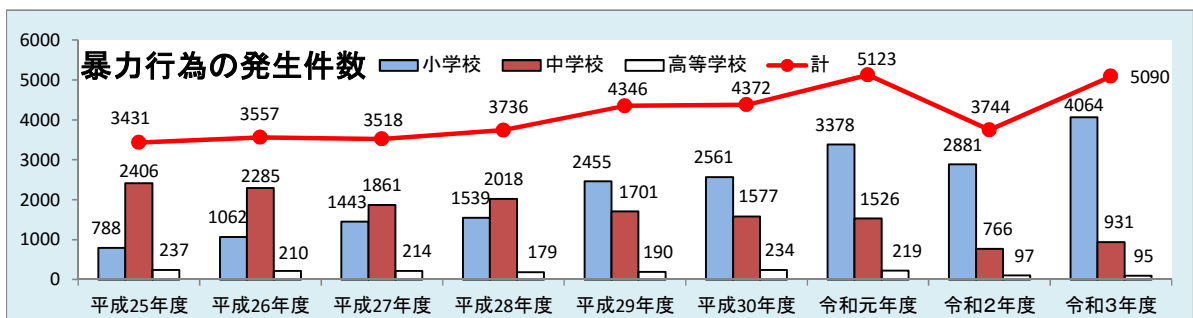
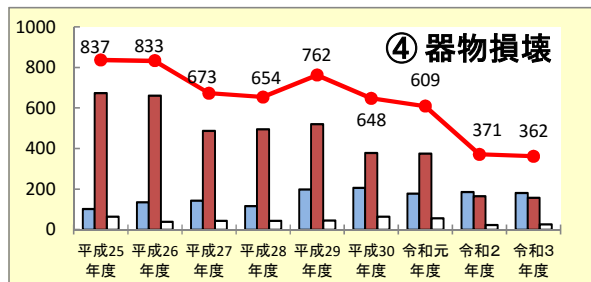
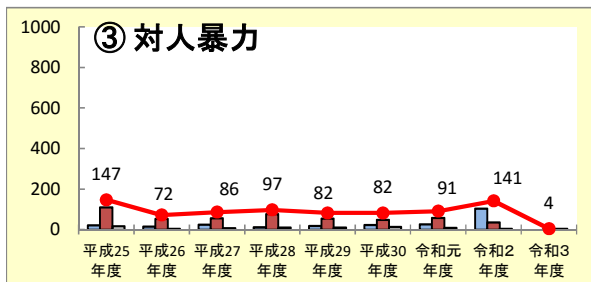
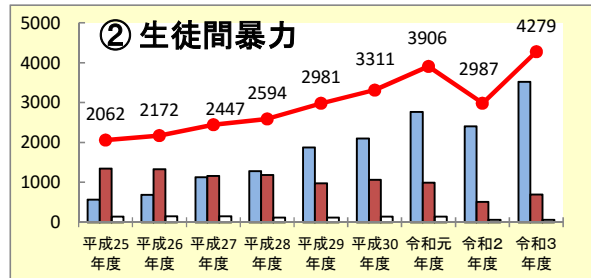
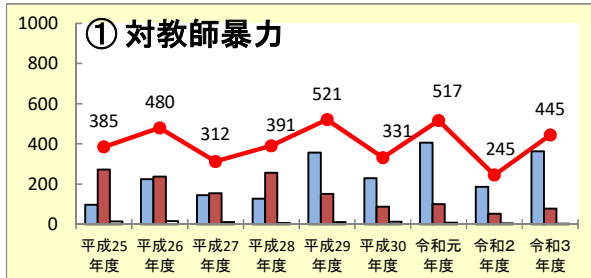
年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	合計(人)
23年度	0	1	0	1
24年度	1	2	9	12
25年度	0	4	8	12
26年度	2	4	7	13
27年度	0	4	4	8
28年度	0	2	6	8
29年度	1	6	6	13
30年度	0	8	14	22
元年度	1	3	9	13
2年度	1	7	11	19
<b>3年度</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>16</b>



# 令和3年度 公立小・中・高等学校の暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成25年度	小学校	98	0	535	33	19	2	101	788	3,431
	中学校	271	2	1,212	138	44	66	673	2,406	
	高等学校	14	0	123	21	3	13	63	237	
平成26年度	小学校	225	0	668	20	7	8	134	1,062	3,557
	中学校	235	3	1,210	123	12	41	661	2,285	
	高等学校	17	0	139	12	1	3	38	210	
平成27年度	小学校	145	0	1,077	54	19	5	143	1,443	3,518
	中学校	154	1	1,102	62	37	18	487	1,861	
	高等学校	12	0	143	9	6	1	43	214	
平成28年度	小学校	127	0	1,238	47	9	2	116	1,539	3,736
	中学校	257	0	1,148	42	38	38	495	2,018	
	高等学校	7	0	103	16	3	7	43	179	
平成29年度	小学校	358	0	1,801	81	16	2	197	2,455	4,346
	中学校	151	0	936	40	27	27	520	1,701	
	高等学校	12	0	111	12	2	8	45	190	
平成30年度	小学校	230	0	2,030	73	17	5	206	2,561	4,372
	中学校	88	0	1,017	47	19	28	378	1,577	
	高等学校	13	0	136	8	9	4	64	234	
令和元年度	小学校	407	0	2,678	89	17	9	178	3,378	5,123
	中学校	101	0	965	28	38	19	375	1,526	
	高等学校	9	0	132	14	0	8	56	219	
令和2年度	小学校	187		2406		103		185	2881	3,744
	中学校	53		514		35		164	766	
	高等学校	5		67		3		22	97	
令和3年度	小学校	363		3,520		0		181	4,064	5,090
	中学校	78		696		1		156	931	
	高等学校	4		63		3		25	95	



※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

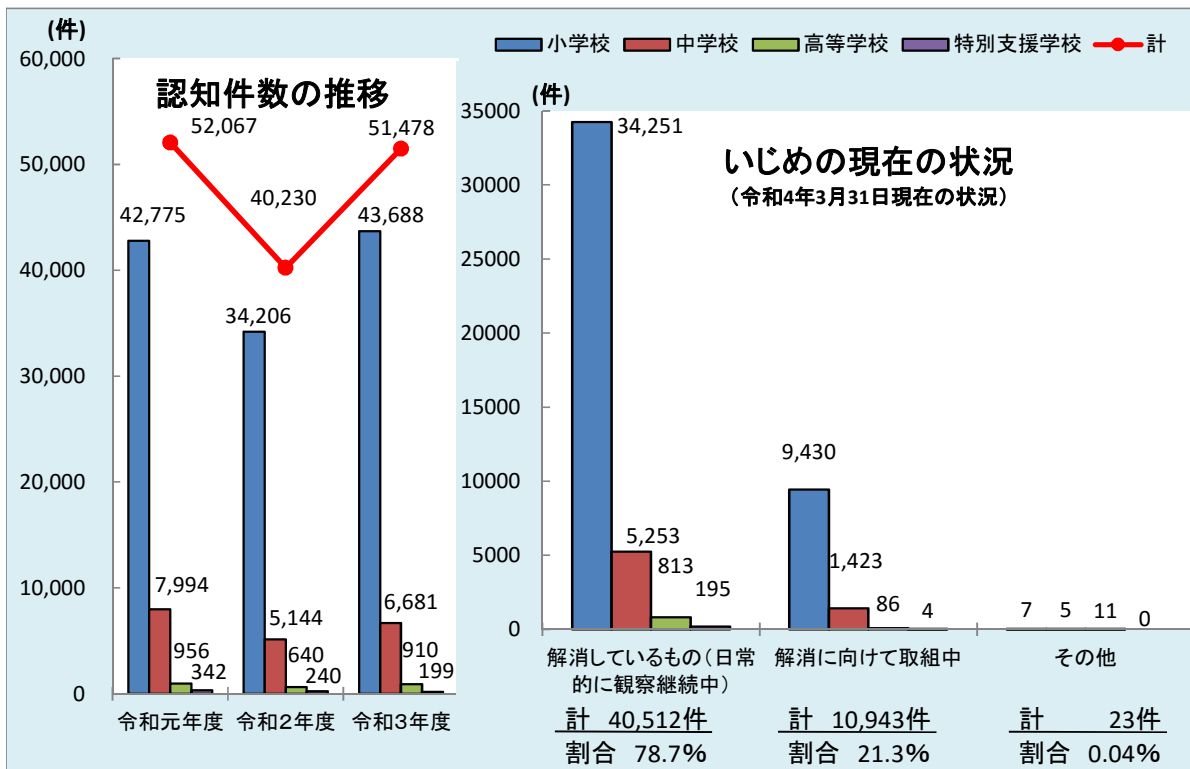
※令和2年度より、学校の管理下、管理下以外のいずれで発生したかに関わらず、発生件数を計上

# 令和3年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

## 1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	令和元年度	781	758	97.1%	42,775	11,134【35.2%】	54.8
	令和2年度	767	735	95.8%	34,206	△8,569【△20.0%】	44.6
	令和3年度	755	731	96.8%	43,688	9,482【27.7%】	57.9
中学校	令和元年度	377	368	97.6%	7,994	1,096【15.9%】	21.2
	令和2年度	371	351	94.6%	5,144	△2,850【△35.7%】	13.9
	令和3年度	367	351	95.6%	6,681	1,537【29.9%】	18.2
高等学校	令和元年度	145	131	90.3%	956	193【25.3%】	6.6
	令和2年度	145	123	84.8%	640	△316【△33.1%】	4.4
	令和3年度	144	118	81.9%	910	270【42.2%】	6.3
特別 学校 支援	令和元年度	43	29	67.4%	342	162【90%】	8.0
	令和2年度	43	28	65.1%	240	△102【△29.8%】	5.6
	令和3年度	43	27	62.8%	199	△41【△17.1%】	4.6
計	令和元年度	1,346	1,286	95.5%	52,067	12,585【31.9%】	38.7
	令和2年度	1,326	1,237	93.3%	40,230	△11,837【△22.7%】	30.3
	令和3年度	1,309	1,227	93.7%	51,478	11,248【28.0%】	39.3

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制126校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

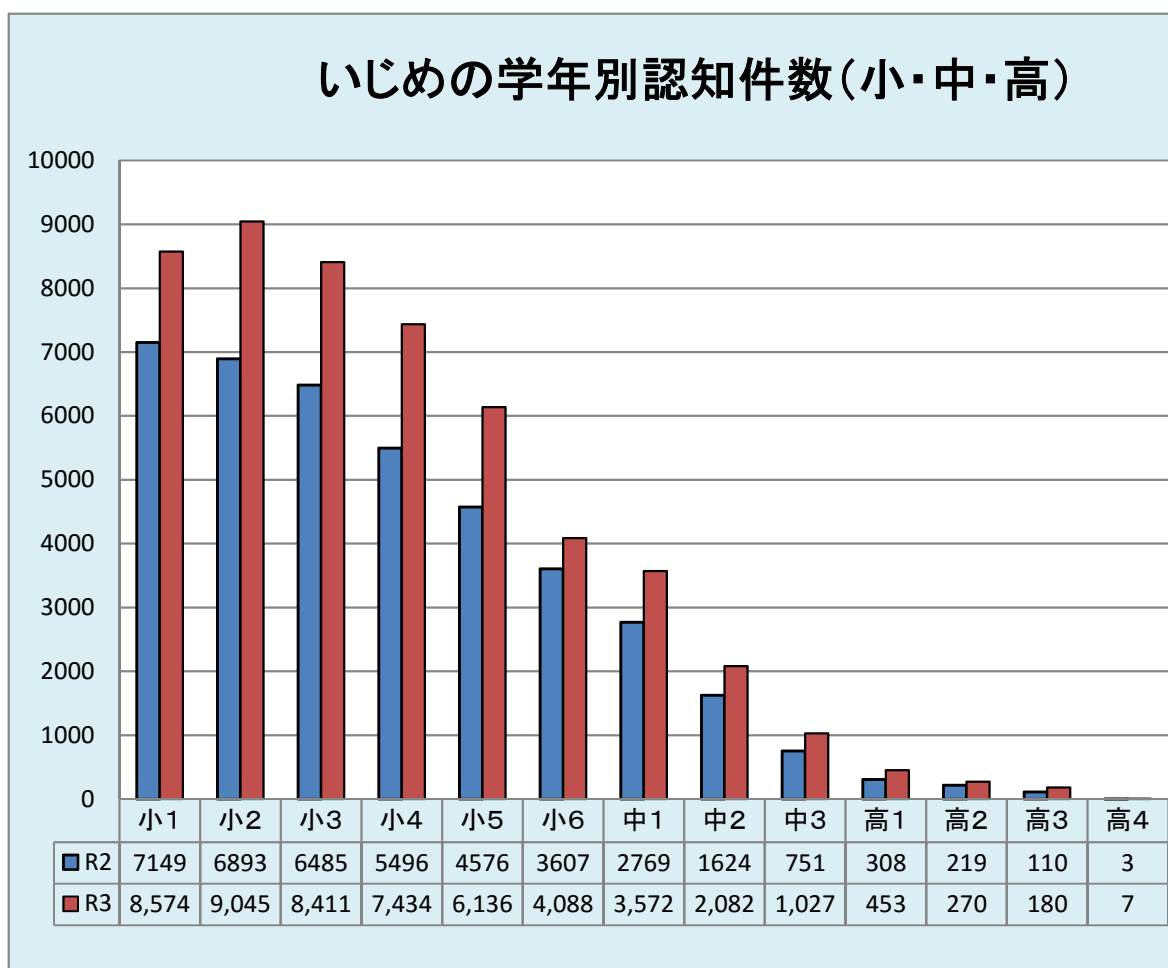
「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

## 2 いじめの認知件数の学年別内訳

(単位:件)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	8,574	9,045	8,411	7,434	6,136	4,088	43,688	
中学校	3,572	2,082	1,027	—	—	—	6,681	
高等学校	453	270	180	7	—	—	910	
特別支援学校	小学部	3	11	19	2	3	20	58
	中学部	18	11	16	—	—	—	45
	高等部	26	35	35	—	—	—	96
特別支援学校計	47	57	70	2	3	20	199	

※令和3年度より、男女別に関わらず、認知件数を計上

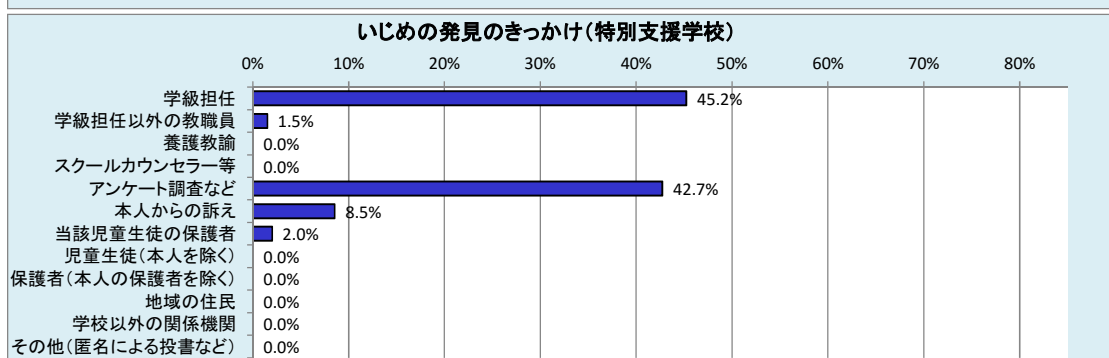
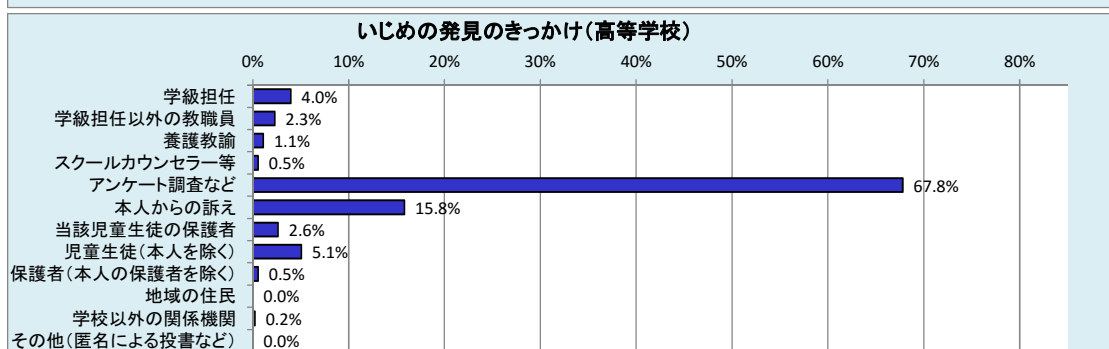
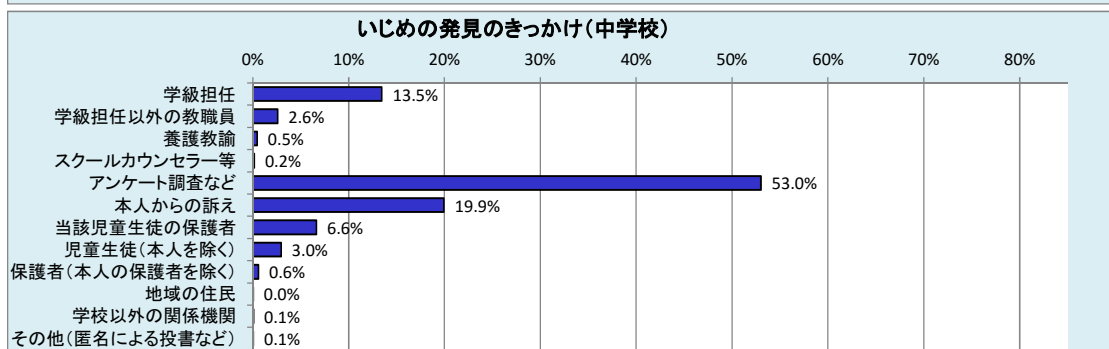
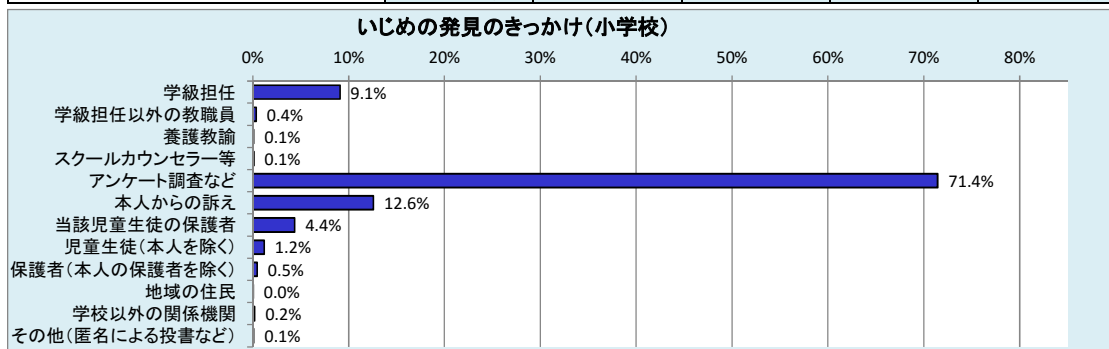


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

### 3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	35,425	4,656	689	178	40,948	
内訳	学級担任	3,971	899	36	90	4,996
	学級担任以外の教職員	153	173	21	3	350
	養護教諭	42	31	10	0	83
	スクールカウンセラー等	46	11	5	0	62
	アンケート調査など	31,213	3,542	617	85	35,457
学校の教職員以外からの情報により発見	8,263	2,025	221	21	10,530	
内訳	本人からの訴え	5,489	1,332	144	17	6,982
	当該児童生徒の保護者	1,906	444	24	4	2,378
	児童生徒(本人を除く)	523	198	46	0	767
	保護者(本人の保護者を除く)	206	40	5	0	251
	地域の住民	9	2	0	0	11
	学校以外の関係機関	86	5	2	0	93
	その他(匿名による投書など)	44	4	0	0	48
	計	43,688	6,681	910	199	51,478



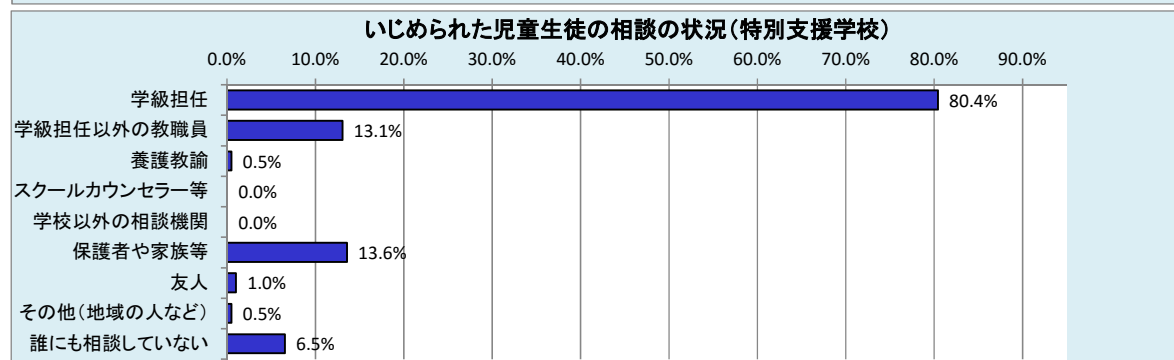
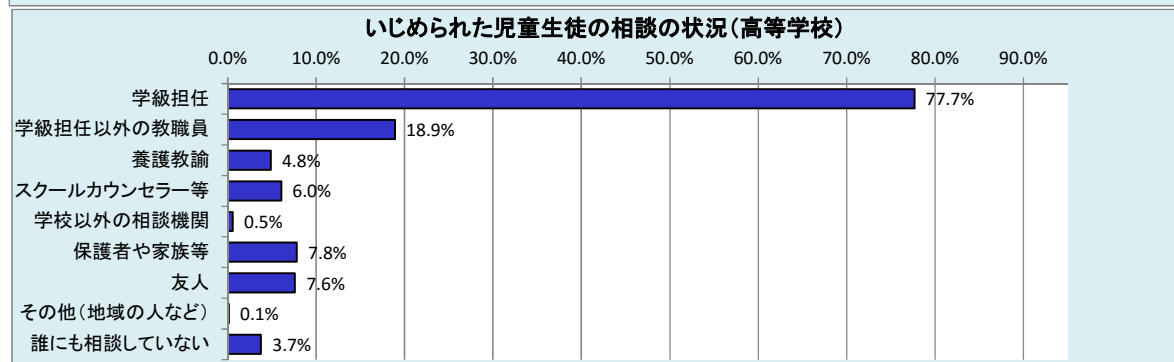
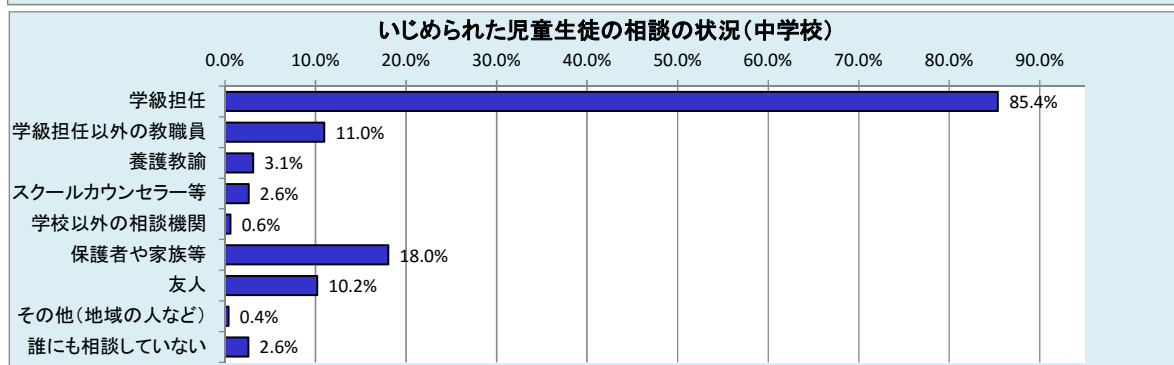
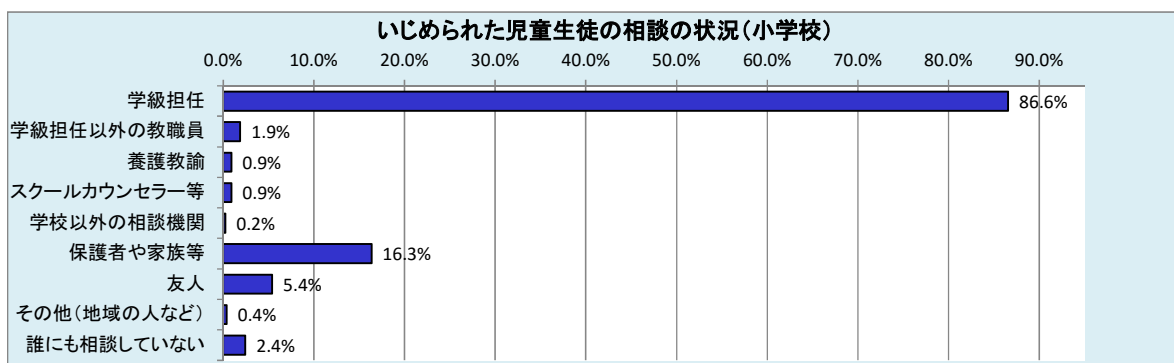
※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。  
(認知件数: 小学校43,688件、中学校6,681件、高等学校910件、特別支援学校199件)

#### 4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	37,817	5,704	707	160	44,388
学級担任以外の教職員	810	733	172	26	1,741
養護教諭	385	207	44	1	637
スクールカウンセラー等	387	174	55	0	616
学校以外の相談機関	90	40	5	0	135
保護者や家族等	7,140	1,204	71	27	8,442
友人	2,349	679	69	2	3,099
その他(地域の人など)	155	25	1	1	182
誰にも相談していない	1,050	172	34	13	1,269
計	50,183	8,938	1,158	230	60,509

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

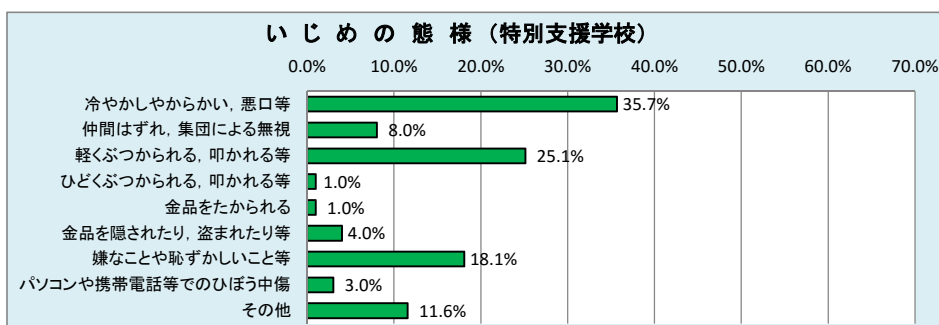
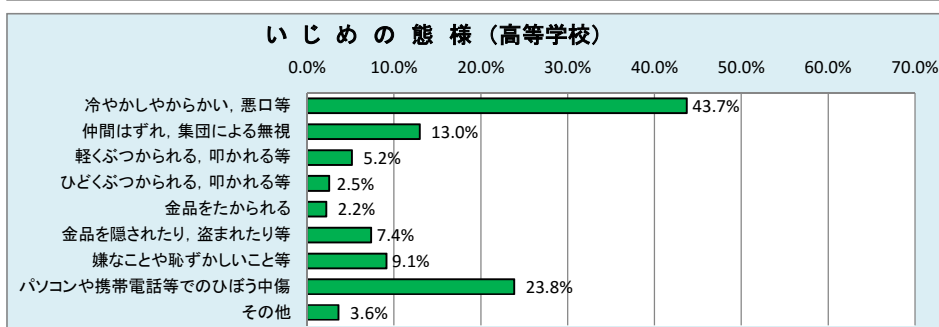
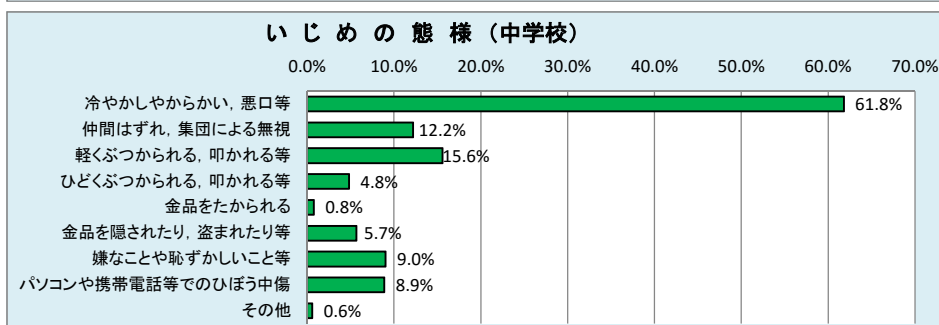
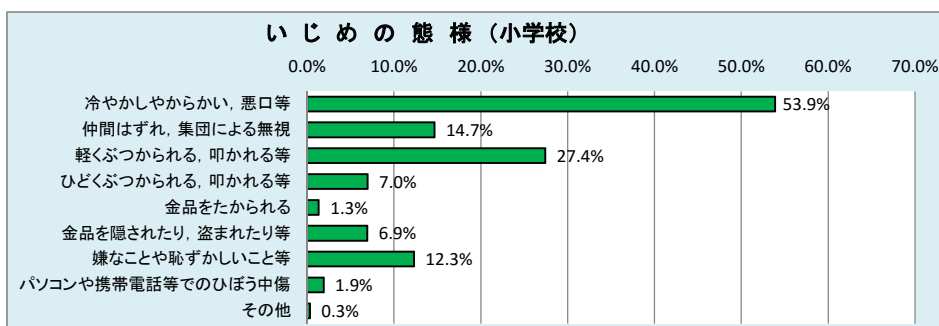
(認知件数: 小学校43, 688件、中学校6, 681件、高等学校910件、特別支援学校199件)

## 5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	23,545	4,129	398	71	28,143
仲間はずれ, 集団による無視	6,402	814	118	16	7,350
軽くぶつかられる, 叩かれる等	11,986	1,042	47	50	13,125
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	3,039	322	23	2	3,386
金品をたかられる	586	52	20	2	660
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	3,023	379	67	8	3,477
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	5,384	604	83	36	6,107
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	838	593	217	6	1,654
その他	141	38	33	23	235
計	54,944	7,973	1,006	214	64,137

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校43, 688件、中学校6, 681件、高等学校910件、特別支援学校199件)

## 令和3年度 公立小中学校の長期欠席の状況等(千葉県)

### 1-(1) 長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	長期欠席率(%)
小学校	302,822	8,375	2.77%
中学校	147,964	9,726	6.57%
合 計	450,786	18,101	4.02%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

### 1-(2) 理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	小学校			中学校			合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病 気	1,236	0.41%	14.76%	1,970	1.33%	20.25%	3,206	0.71%	17.71%
経済的理由	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%
不登校	3,583	1.18%	42.78%	6,368	4.30%	65.47%	9,951	2.21%	54.97%
新型コロナウイルスの感染回避	2,190	0.72%	26.15%	693	0.47%	7.13%	2,883	0.64%	15.93%
その他	1,366	0.45%	16.31%	695	0.47%	7.15%	2,061	0.46%	11.39%
合 計	8,375	2.77%	100%	9,726	6.57%	100%	18,101	4.02%	100%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

(注4)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

### 2 不登校児童生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	合 計
小 学 校	1,335	2,248	3,583
中 学 校	3,053	3,315	6,368
合 計	4,388	5,563	9,951

(注)小学校1年125名については入学前の調査はしていない。



### 3 小・中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数 (人)	不登校児童生 徒数(人)	前年度との不 登校数の差 (人)	全児童生徒に 対する割合 (%)	前年度との割 合の差
小 学 校	平成16年度	859	329,922	764		0.23%	
	平成17年度	858	331,897	776	12	0.23%	0.00
	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25%	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25%	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24%	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26%	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26%	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27%	0.01
	平成24年度	837	325,557	856	-42	0.26%	-0.01
	平成25年度	828	322,121	1,086	230	0.34%	0.08
	平成26年度	820	319,190	1,158	72	0.36%	0.02
	平成27年度	810	316,855	1,233	75	0.39%	0.03
	平成28年度	806	314,710	1,456	223	0.46%	0.07
	平成29年度	796	312,913	1,606	150	0.51%	0.05
	平成30年度	794	312,314	2,016	410	0.65%	0.14
	令和元年度	781	309,308	2,352	336	0.76%	0.11
令和2年度	767	305,950	2,691	339	0.88%	0.12	
令和3年度	755	302,822	3,583	892	1.18%	0.30	
中 学 校	平成16年度	384	152,280	3,992		2.62%	
	平成17年度	382	150,490	4,091	99	2.72%	0.10
	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80%	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89%	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87%	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77%	-0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74%	-0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	-303	2.51%	-0.23
	平成24年度	383	154,563	3,734	-145	2.42%	-0.09
	平成25年度	382	155,022	3,884	150	2.51%	0.09
	平成26年度	382	154,662	3,963	79	2.56%	0.05
	平成27年度	381	154,585	4,160	197	2.69%	0.13
	平成28年度	381	153,293	4,191	31	2.73%	0.04
	平成29年度	379	151,710	4,637	446	3.06%	0.33
	平成30年度	379	148,104	5,100	463	3.44%	0.38
	令和元年度	377	147,039	5,149	49	3.50%	0.06
令和2年度	371	146,530	5,159	10	3.52%	0.02	
令和3年度	367	147,964	6,368	1,209	4.30%	0.78	
合 計	平成16年度	1243	482,202	4,756		0.99%	
	平成17年度	1240	482,387	4,867	111	1.01%	0.02
	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04%	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07%	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06%	-0.01
	平成21年度	1228	487,266	5,099	-52	1.05%	-0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04%	-0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	-276	0.98%	-0.06
	平成24年度	1220	480,120	4,590	-187	0.96%	-0.02
	平成25年度	1210	477,143	4,970	380	1.04%	0.08
	平成26年度	1202	473,852	5,121	151	1.08%	0.04
	平成27年度	1191	471,440	5,393	272	1.14%	0.06
	平成28年度	1187	468,003	5,647	254	1.21%	0.07
	平成29年度	1175	464,623	6,243	596	1.34%	0.13
	平成30年度	1173	460,418	7,116	873	1.55%	0.21
	令和元年度	1158	456,347	7,501	385	1.64%	0.09
令和2年度	1138	452,480	7,850	349	1.73%	0.09	
令和3年度	1122	450,786	9,951	2,101	2.21%	0.48	



## 4 学年別不登校児童生徒数

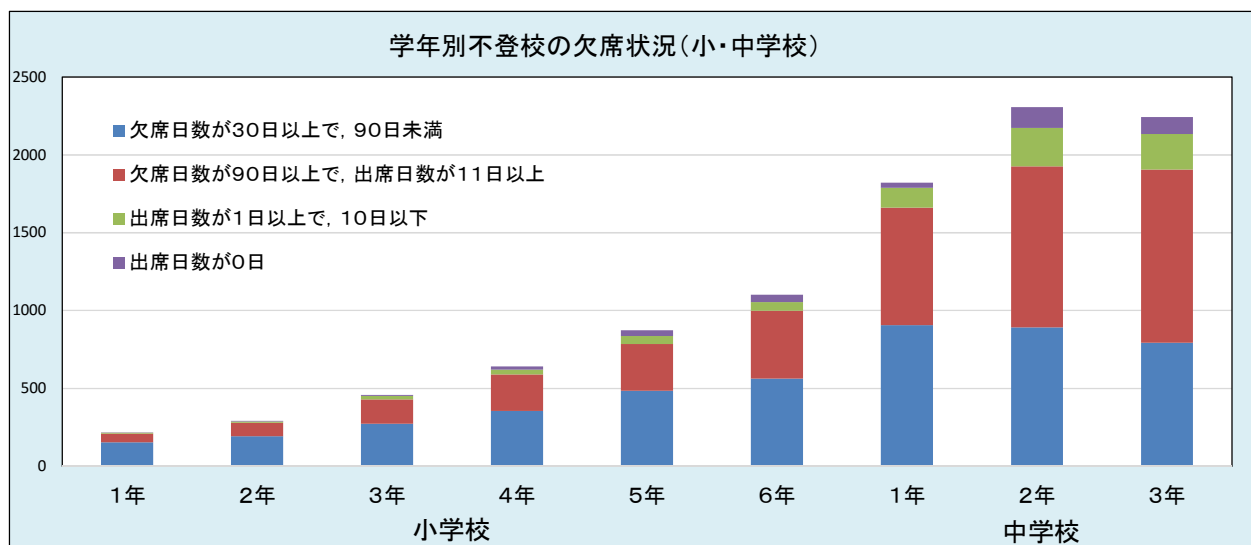
### (1) 小学校

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合(%)
不登校児童数	218	291(80)	458(151)	641(229)	873(359)	1,102(516)	3,583(1,335)	100
うち、90日以上欠席	64	98	184	285	388	538	1,557	43.5%
うち、出席日数が10日以下	9	12	29	52	87	103	292	8.1%
うち、出席日数が0日	3	4	5	20	37	47	116	3.2%

### (2) 中学校

区分	1年	2年	3年	合計	割合(%)
不登校生徒数	1,820(378)	2,305(1,171)	2,243(1,504)	6,368(3,053)	100%
うち、90日以上欠席	914	1,413	1,450	3,777	59.3%
うち、出席日数が10日以下	159	379	339	877	13.8%
うち、出席日数が0日	32	132	109	273	4.3%

※( )内は前回調査でも不登校として計上されていた児童生徒の人数。(中学校1年については、前回調査における小学校6年時のもの。)



## 5 不登校児童生徒の在籍学校数

区分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小学校	755	647
中学校	367	360
合計	1,122	1,007

## 6 不登校児童生徒への指導結果状況

区分	小学校	中学校	計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	892 24.9%	1,768 27.8%	2,660 26.7%
指導中の児童生徒	2,691 75.1%	4,600 72.2%	7,291 73.3%
合計	3,583	6,368	9,951

## 7 不登校の要因

### (1) 小学校・中学校

区分 学校種	不登校児童生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安	
小学校 主たるもの (一人1つ必ず選択)	3,583	17	253	74	125	9	0	28	58	97	297	74	381	2,131	39
		0.5%	7.1%	2.1%	3.5%	0.3%	0.0%	0.8%	1.6%	2.7%	8.3%	2.1%	10.6%	59.5%	1.1%
中学校 主たるもの (一人1つ必ず選択)	6,368	5	810	66	499	63	37	40	318	121	306	129	783	3,154	37
		0.1%	12.7%	1.0%	7.8%	1.0%	0.6%	0.6%	5.0%	1.9%	4.8%	2.0%	12.3%	49.5%	0.6%
合計	9,951	22	1,063	140	624	72	37	68	376	218	603	203	1,164	5,285	76
		0.2%	10.7%	1.4%	6.3%	0.7%	0.4%	0.7%	3.8%	2.2%	6.1%	2.0%	11.7%	53.1%	0.8%

(注1) 「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき回答したものを。

#### <区分>

##### \* 学校に係る状況

- いじめ……………本調査で定義するいじめに該当するもの  
仲違い等
- いじめを除く友人関係をめぐる問題……………教職員の強い叱責、注意等
- 教職員との関係をめぐる問題……………成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等
- 学業の不振……………将来の進路希望が定まらない等
- 進路にかかる不安……………部活動の練習に参加したくない等
- クラブ活動、部活動等への不適応……………制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等
- 学校のきまり等をめぐる問題……………転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等
- 入学、転編入学、進級時の不適応……………

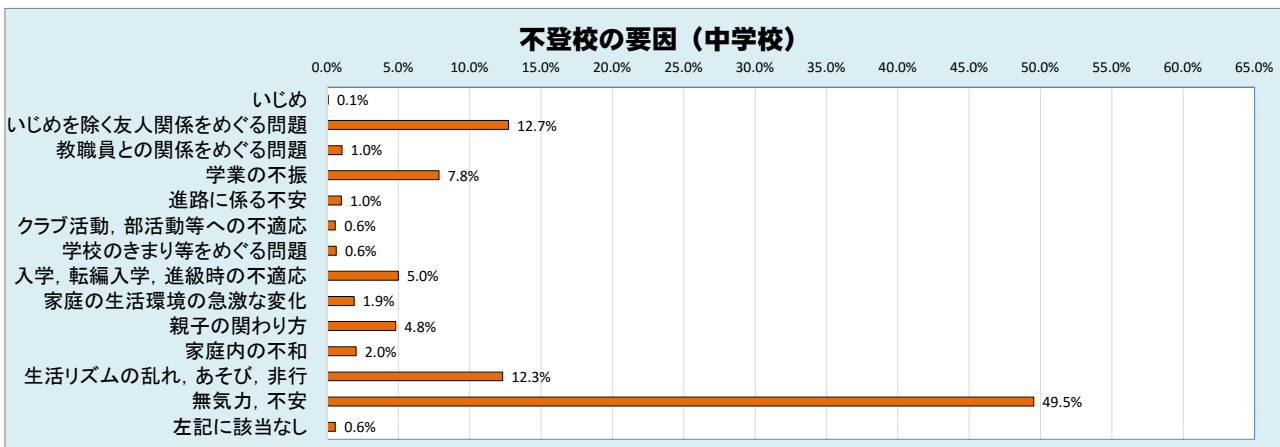
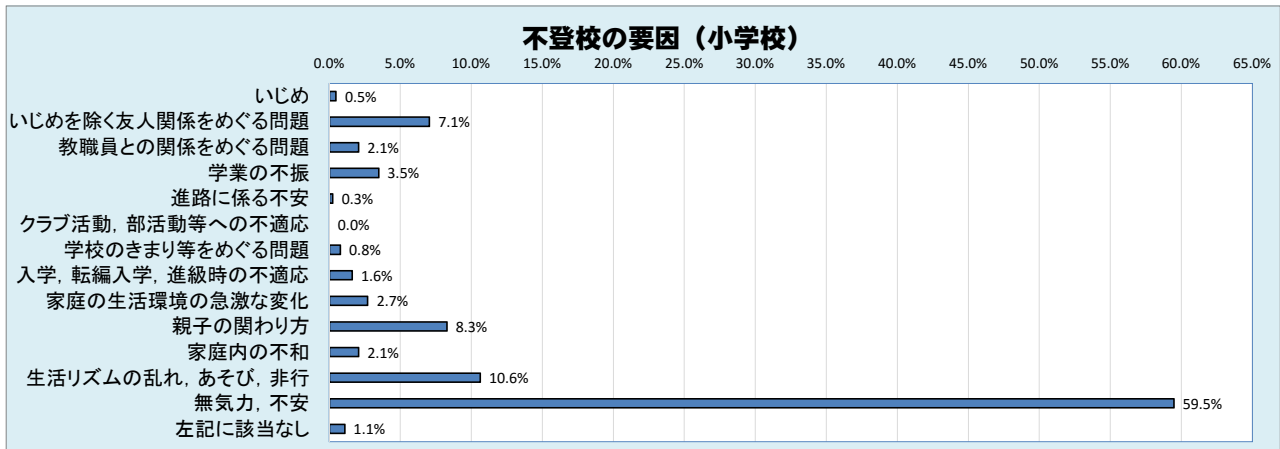
##### \* 家庭に係る状況

- 家庭の生活環境の急激な変化……………親の単身赴任、離婚等
- 親子の関わり方……………親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等
- 家庭内の不和……………両親の不和、祖父母と父母の不和等

##### \* 本人に係る状況

- 生活リズムの乱れ、あそび、非行……………就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等
- 無気力、不安……………無気力でなんとなく登校しない。登校の意思はあるが、漠然とした不安を抱え登校しない(できない。)等

##### \* 左記に該当なし……………本人や保護者と話しても上記のような傾向が見えず、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない



## 8 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	小学校				中学校				計			
	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数
学 校	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	1,313	36.6%	403	1,966	30.9%	993	3,279	33.0%	1,396		
	① 教育支援センター(適応指導教室)	346	9.7%	211	671	10.5%	568	1,017	10.2%	779	35	
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	426	11.9%	109	443	7.0%	228	869	8.7%	337	8	
	③ 児童相談所, 福祉事務所	150	4.2%	22	219	3.4%	78	369	3.7%	100		
	④ 保健所, 精神保健福祉センター	11	0.3%	0	14	0.2%	1	25	0.3%	1		
	⑤ 病院, 診療所	345	9.6%	2	473	7.4%	29	818	8.2%	31		
	⑥ 民間団体, 民間施設	184	5.1%	71	190	3.0%	108	374	3.8%	179	10	
	⑦ 上記以外の機関等	50	1.4%	13	105	1.6%	30	155	1.6%	43		
外	(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	2,270	63.4%		4,402	69.1%		6,672	67.0%			
	(3) (1), (2)の合計	3,583	100%		6,368	100%		9,951	100%			
学 校 内	(4)⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	1,457	40.7%		2,447	38.4%		3,904	39.2%			
	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	471	13.1%		797	12.5%		1,268	12.7%			
	⑨ スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	1,148	32.0%		1,853	29.1%		3,001	30.2%			
	(5)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	2,126	59.3%		3,921	61.6%		6,047	60.8%			
	(6) (4), (5)の合計	3,583	100%		6,368	100%		9,951	100%			
	(7)上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	1,415	39.5%		2,718	42.7%		4,133	41.5%			

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校児童生徒数に対する割合を示している。  
(不登校児童生徒数: 小学校3,583人、中学校6,368人、合計9,951人)

## 令和3年度 公立高等学校の長期欠席の状況等(千葉県)

### 1-(1)長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率(%)	前年比
全日制	91,746	2,445	725	2.66%	0.86%
定時制	2,475	784	146	31.68%	7.41%
合計	94,221	3,229	871	3.43%	1.03%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

### 1-(2)理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全日制			定時制			全定合計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気	476	0.52%	19.47%	66	2.67%	8.42%	542	0.58%	16.79%
経済的理由	12	0.01%	0.49%	11	0.44%	1.40%	23	0.02%	0.71%
不登校	1,622	1.77%	66.34%	648	26.18%	82.65%	2,270	2.41%	70.30%
新型コロナウイルスの感染回避	196	0.21%	8.02%	17	0.69%	2.17%	213	0.23%	6.60%
その他	139	0.15%	5.69%	42	1.70%	5.36%	181	0.19%	5.61%
合計	2,445	2.66%	100%	784	31.68%	100%	3,229	3.43%	100%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

(注4)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

### 2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合計
全日制	249	1,373	0	1,622
定時制	262	386	0	648
合計	511	1,759	0	2,270

(注)「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

### 3-1) 課程別不登校生徒数

	全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	428	1.85%	/		428	1.85%
2学年	542	2.19%	/		542	2.19%
3学年	468	1.91%	/		468	1.91%
単位制	184	0.95%	648	26.18%	832	3.82%
合 計	1,622	1.77%	648	26.18%	2,270	2.41%

(注)出現率(%)は、学年制及び単位制における全生徒数に対する割合である。

### 3-2) 課程別不登校生徒欠席状況

区 分	全 日 制				定時制 (単位制)	全定合計	割合(%)
	1年	2年	3年	単位制			
不登校生徒数	428	542	468	184	648	2,270	100%
うち、90日以上欠席	31	38	9	20	143	241	10.6%
うち、出席日数が10日以下	6	9	2	2	46	65	2.9%
うち、出席日数が0日	1	2	1	1	14	19	0.8%

### 3-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中途退学率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全 日 制	1,622	241	14.86%	30	1.85%
定 時 制	648	104	16.05%	/	
合 計	2,270	345	15.20%	30	1.32%

### 3-4) 不登校生徒への指導結果状況

区 分	全 日 制	定 時 制	全 定 合 計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	796	229	1,025
	49.1%	35.3%	45.2%
指導中の生徒	826	419	1,245
	50.9%	64.7%	54.8%
合 計	1,622	648	2,270

#### 4 不登校の要因

(1) 高校(全日制・定時制)

区分	学校種	不登校生徒数	学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行		無気力、不安
全日制	主たるもの (一人1つ必ず選択)	1,622	3	129	4	115	46	9	9	99	30	45	23	338	695	77
			0.2%	8.0%	0.2%	7.1%	2.8%	0.6%	0.6%	6.1%	1.8%	2.8%	1.4%	20.8%	42.8%	4.7%
定時制	主たるもの (一人1つ必ず選択)	648	0	19	1	17	14	0	2	13	11	19	11	177	335	29
			0.0%	2.9%	0.2%	2.6%	2.2%	0.0%	0.3%	2.0%	1.7%	2.9%	1.7%	27.3%	51.7%	4.5%
合計		2,270	3	148	5	132	60	9	11	112	41	64	34	515	1,030	106
			0.1%	6.5%	0.2%	5.8%	2.6%	0.4%	0.5%	4.9%	1.8%	2.8%	1.5%	22.7%	45.4%	4.7%

(注1) 「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校生徒全員につき回答したものを。

<区分>

\* 学校に係る状況

- ・いじめ……………本調査で定義するいじめに該当するもの
- ・いじめを除く友人関係をめぐる問題……………仲違い等
- ・教職員との関係をめぐる問題……………教職員の強い叱責、注意等
- ・学業の不振……………成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等
- ・進路にかかる不安……………将来の進路希望が定まらない等
- ・クラブ活動、部活動等への不適応……………部活動の練習に参加したくない等
- ・学校のきまり等をめぐる問題……………制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等
- ・入学、転編入学、進級時の不適応……………転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等

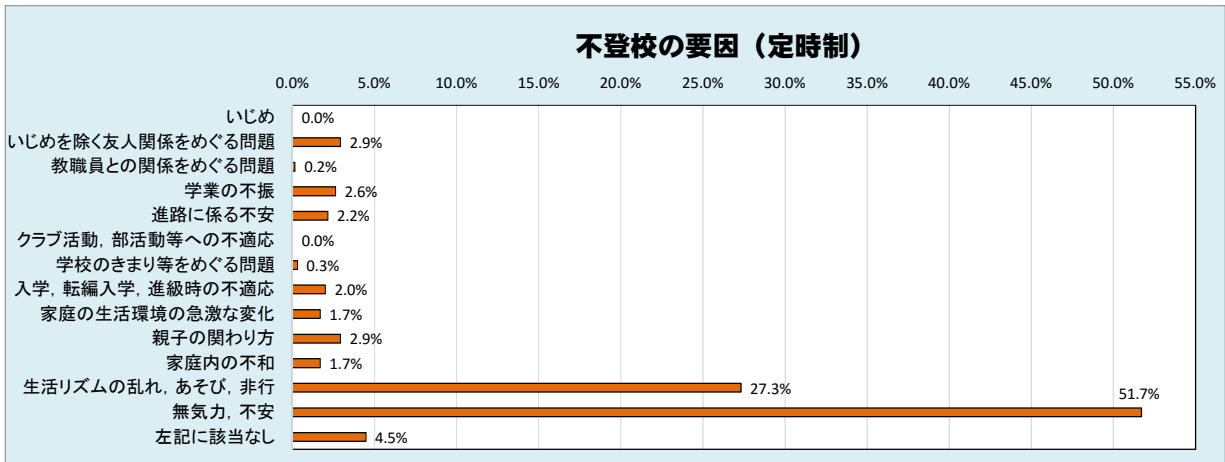
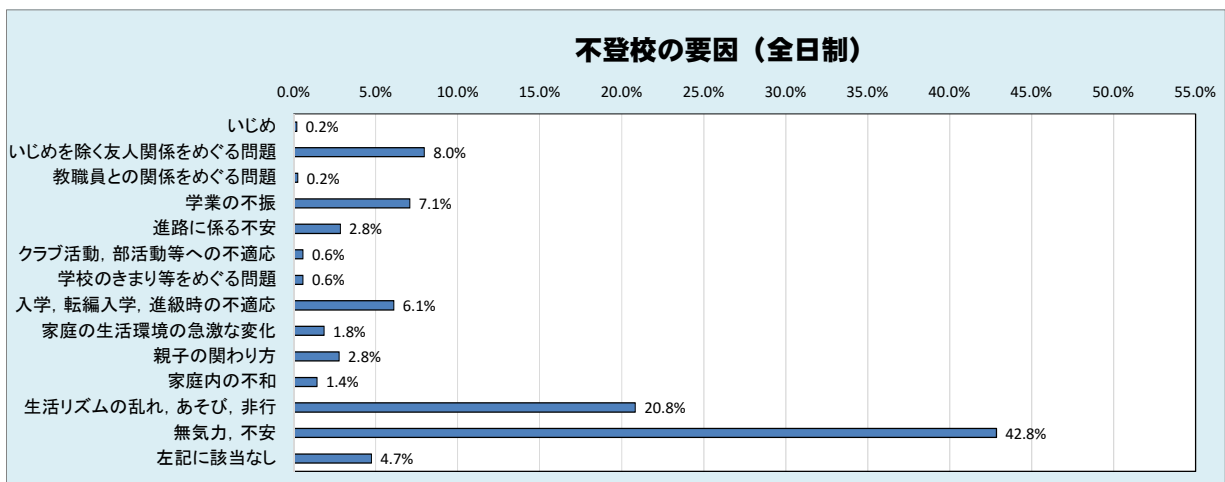
\* 家庭に係る状況

- ・家庭の生活環境の急激な変化……………親の単身赴任、離婚等
- ・親子の関わり方……………親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等
- ・家庭内の不和……………両親の不和、祖父母と父母の不和等

\* 本人に係る状況

- ・生活リズムの乱れ、あそび、非行……………就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等
- ・無気力、不安……………無気力でなんとなく登校しない。登校の意思はあるが、漠然とした不安を抱え登校しない(できない。)等

\* 左記に該当なし……………本人や保護者と話しても上記のような傾向が見えず、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない



5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区 分		全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
		総数	割合 (%)	総数	割合 (%)	総数	割合 (%)
学 校 外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	223	13.7%	111	17.1%	334	14.7%
	指導要録上出席扱いとなった実人数	6		9		15	
	①教育支援センター(適応指導教室)	4	0.2%	1	0.2%	5	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	10	0.6%	2	0.3%	12	0.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	1		0		1	
	③児童相談所, 福祉事務所	49	3.0%	16	2.5%	65	2.9%
	指導要録上出席扱いとなった人数	4		8		12	
	④保健所, 精神保健福祉センター	8	0.5%	1	0.2%	9	0.4%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑤病院, 診療所	142	③ 8.8%	43	③ 6.6%	185	③ 8.1%
	指導要録上出席扱いとなった人数	2		1		3	
	⑥民間団体, 民間施設	2	0.1%	3	0.5%	5	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
⑦上記以外の機関等	23	1.4%	48	7.4%	71	3.1%	
指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		
(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,140	70.3%	480	74.1%	1,620	71.4%	
(3)不明	259	16.0%	57	8.8%	316	13.9%	
(4) (1)～(3)の合計	1,622	100%	648	100%	2,270	100%	
学 校 内	(5) ⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	686	42.3%	195	30.1%	881	38.8%
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	411	① 25.3%	74	② 11.4%	485	② 21.4%
	⑨スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	385	② 23.7%	134	① 20.7%	519	① 22.9%
	(6)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	936	57.7%	453	69.9%	1,389	61.2%
	(7) (5), (6)の合計	1,622	100%	648	100%	2,270	100%
(8)上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	649	40.0%	317	48.9%	966	42.6%	

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校生徒数に対する割合を示している。  
(不登校生徒数:全日制1,622人、定時制648人、合計2,270人)

## 令和3年度 公立高等学校の中途退学者数等の状況(千葉県)

### 1-(1) 中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

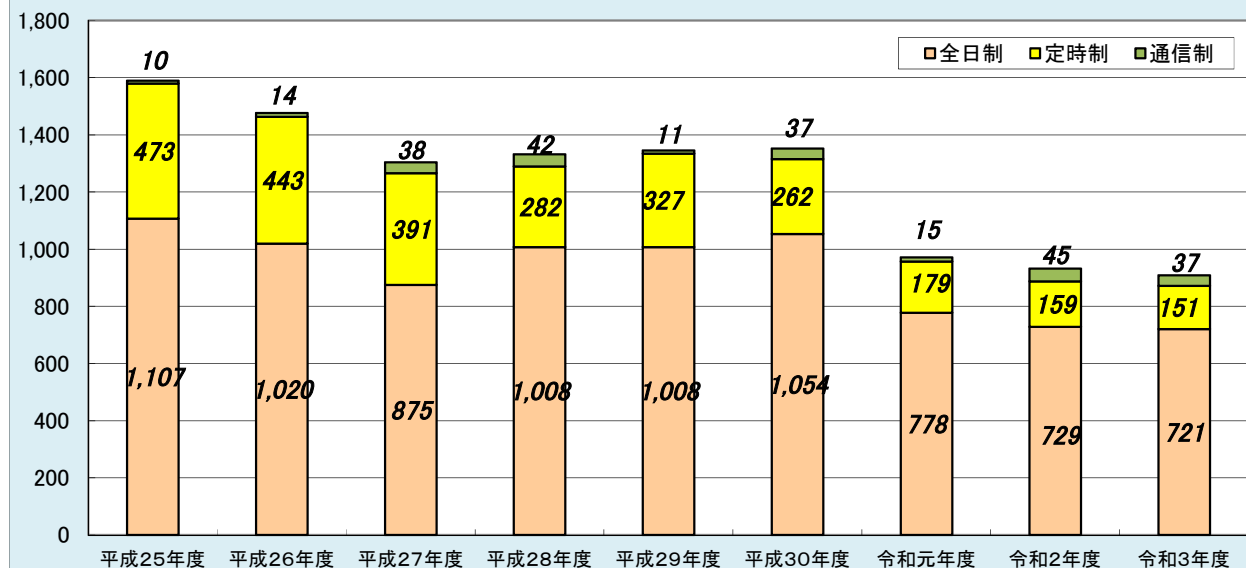
	在籍者数(4/1現在)	中途退学者総数	前年度増減	中退率(%)	前年度比
全日制	91,680	721	-8	0.79%	0.03%
定時制	2,486	151	-8	6.07%	0.03%
通信制	933	37	-8	3.97%	-0.13%
合計	95,099	909	-24	0.96%	0.02%

### 1-(2) 中途退学者(人数)・中途退学率(%)の推移

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
全日制	中退者数	1,107	1,020	875	1,008	1,008	1,054	778	729	721	-8
	中退率(%)	1.11%	1.01%	0.87%	1.00%	1.00%	1.06%	0.80%	0.76%	0.79%	0.02%
定時制	中退者数	473	443	391	282	327	262	179	159	151	-8
	中退率(%)	13.45%	13.26%	12.67%	9.69%	11.43%	9.54%	6.72%	6.04%	6.07%	0.03%
通信制	中退者数	10	14	38	42	11	37	15	45	37	-8
	中退率(%)	0	1.32%	3.29%	3.91%	1.01%	3.54%	1.73%	4.10%	3.97%	-0.14%
合計	中退者数	1,590	1,477	1,304	1,332	1,346	1,353	972	933	909	-24
	中退率(%)	1.51%	1.40%	1.24%	1.27%	1.29%	1.31%	0.96%	0.94%	0.96%	0.02%

(注)平成25年度の調査から通信制が加わった。

### 年度別中途退学者数の推移





2-(1) 全日制学年別中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比	割合 (%)	割合 前年比
1	23,132	278	1.20%	0.07%	38.6%	-0.9%
2	24,640	256	1.04%	-0.03%	35.5%	-1.7%
3	24,597	97	0.39%	0.04%	13.5%	1.4%
単位制	19,311	90	0.47%	0.05%	12.5%	1.3%
合計	91,680	721	0.79%	0.03%	100%	

(注)割合(%)は中途退学者の合計に対する割合を示している。

2-(2) 定時制・通信制中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比
定時制	2,486	151	6.07%	0.03%
通信制	933	37	3.97%	-0.13%
合計	3,419	188	5.50%	0.03%

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由	全日制			定時制			通信制			合計			
	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	
学 業 不 振	74	10.3%	3.2%	4	2.6%	-1.8%	0	0.0%	-48.9%	78	8.6%	-0.1%	
学校生活・学業不適応	366	50.8%	10.3%	93	61.6%	11.9%	0	0.0%	-22.2%	459	50.5%	9.3%	
進路変更	別の高校への入学を希望	152	21.1%	-7.6%	17	11.3%	-1.9%	0	0.0%	-20.0%	169	18.6%	-7.0%
	専修・各種学校への入学を希望	1	0.1%	-1.7%	2	1.3%	-2.5%	0	0.0%	0.0%	3	0.3%	-1.7%
	就職を希望	28	3.9%	-4.5%	12	7.9%	-3.4%	0	0.0%	0.0%	40	4.4%	-4.1%
	高卒程度認定試験受験を希望	24	3.3%	1.2%	4	2.6%	0.7%	0	0.0%	0.0%	28	3.1%	1.2%
	その他	9	1.2%	-0.7%	1	0.7%	-4.3%	0	0.0%	0.0%	10	1.1%	-1.3%
病 気 け が 死 亡	20	2.8%	1.0%	4	2.6%	-0.5%	2	5.4%	-3.5%	26	2.9%	0.5%	
経 済 的 理 由	0	0.0%	-0.4%	1	0.7%	0.7%	0	0.0%	0.0%	1	0.1%	-0.2%	
家 庭 の 事 情	15	2.1%	-0.8%	7	4.6%	-0.4%	0	0.0%	0.0%	22	2.4%	-0.7%	
問 題 行 動 等	16	2.2%	-1.9%	1	0.7%	-0.6%	0	0.0%	0.0%	17	1.9%	-1.5%	
そ の 他 の 理 由	16	2.2%	1.8%	5	3.3%	2.0%	35	94.6%	94.6%	56	6.2%	5.7%	
合計	721	100%		151	100%		37	100%		909	100%		

(注1)上記の割合(%)は中途退学者数に対する割合を示している。

(中途退学者数:全日制721人、定時制151人、通信制37人)

(注2)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。